

わたしはコレで増収に成功しました！ しかもお客様から喜ばれています

美容室はいま厳しい経営状況にある。昨年22万店を超えた美容業界だが、オーバーシヨップによる競争激化に加え、昨今の大型低料金店の台頭による低料金化で、厳しい経営を強いられている。



美容室より、さらに苦戦しているのがエステティック業界である。もともと営業面で消費者から多くのクレームが寄せられ、業界のイメージは良くなかったが、特定商取引法が改正され、良心的な営業をしているサロンまで経営が圧迫されている。

さらに、リーマンショック以来の経済不況である。客数は減少と、デフレによる客単価は下落で、売上ダウンの店は当然増える。

そんな中で、免疫美容を取り入れ、着実に売上げを伸ばしているサロンがある。

2010年3月、第一級免疫美容セラピスト認定店に認定された免疫美容川口店だ。免疫美容を扱いはじめてから、まだ3年しか経っていないのに、新規客をうまく獲得し、固定客にしている。その秘訣を聞いた。

機械や設備はいりません、必要なのはお肌の知識です



免疫美容川口店の店頭は、メニューボードやポスター類、モニターなどが置かれて賑やかだ



オーナーの中山愛子さん(54歳、中央)、オーナーの妹で店長の窪田文子さん(51歳)、スタッフの市場美和さん(45歳)

「免疫美容はテレビCMを見て知っていて、興味を持っていました」とオーナーの中山愛子さん。たまたまパト라의営業が訪れたのが、免疫美容を取り入れるきっかけになった。大宮で開かれた免疫美容の講習会に参加して、免疫美容の理論を学んだ。

「リンパマッサージにも免疫の考え方があり、免疫美容との共通点は多く、すんなりと理解できました」と中山さん。

だから「リラクゼーション香音」と「免疫美容川口店」の二枚看板が掲げられ、店頭には2つのメニューボードが並べられている。スタッフは、オーナーのほかに、オーナーの妹さんの窪田文子店長と市場美和さんの3人。オーナーは自宅でも免疫美容を行っており、主に窪田店長と市場さんでサロンを切り盛りしている。

「パトラは売りやすい化粧品です」免疫美容を知ったころ、いまのお店の場所が空いたので借りて、免疫美容川口店をオープンさせた。リンパマッサージのお店もそのまま営業を続け、免疫美容川口店と2店舗で施術をしてきたが、リンパマッサージ

と免疫美容を同時に受けるお客様は移動する不自由があった。そこで2年前にリンパマッサージのお店を閉めて、いまのお店で集中して営業することにした。

「この2人はお客様にお薦めするのが上手なんですよ」というようにセールストークも秀でているのかもしれないが、やはり商品の力もあるのだろう。

「クレレンジングをお使いただけならば、次にお会いしたときに、こちらも驚くほどのキレイな肌になっていますし、第一そのことはお客様が本人がお分かりになつていきます」(中山オーナー、窪田店長)。



MOSCOW'S MOST BEAUTIFUL HAIR

インターコワフェール モンディアルは、2010トレンドを表現したヘアスタイル「MOSCOW'S MOST BEAUTIFUL HAIR」を発表した。

リオ、東京に続いてのロケ撮影で、モスクワの聖堂などを背景に、ロングからショート、ボブからシャギーまで様々なヘアスタイルを創作した。

【次ページに続く】

免疫美容

ペプチドセラピー宣言!

テレビCM放映中!



日本免疫美容協会 島野孝子理事長

免疫美容は、ペプチドアミノ酸化粧品を使用することにより、健康で美しい肌を保つ美容法です。この美容法を行うには、肌本来が持っている免疫機能を理解し、ひとり一人の肌に合った的確なカウンセリング方法を習得することが必要です。免疫美容では、特別なテクニックや機器機材は使用しません。必要なのは、肌本来の免疫機能の知識とカウンセリング術です。時代はいま、トラブル肌をはじめ全てのお肌に対応できるペプチドセラピーを求めています。

